

食のセーフティネット&食品ロス削減 をめずフードバンクおおいた

現在、我が国ではこどもの7人に1人が相対的貧困状態にあり、こどもたちを養育する世帯のうち、ひとり親世帯とりわけ母子世帯は2世帯に1世帯が相対的貧困の中で生活を余儀なくされているといわれており、こどもやひとり親世帯の貧困が大きな社会問題となっています。その一方で、我が国の食品流通の現場では、包装の破損や印字ミス、賞味期限・販売期限等の理由により、品質には問題がない食品まで廃棄されている現状があります。この食品ロスは年間800万トンにも上るとい試算もあり、その量は米の生産量に匹敵するといわれています。

私たちは、この二つの問題を結びつけ、まだ食べられるのに様々な理由で廃棄処分されてしまう食品を、食べ物に困っている人や福祉施設などに届けるフードバンク事業を行ってまいります。このフードバンクを活用することにより、相対的貧困状態に置かれているこども達やひとり親世帯の「食」を支援し、他方、食品製造や流通・小売りなどの企業には、社会貢献活動を実施していただく中で、廃棄コストの削減にもつながるものと考えております。

さらには、このような事業を通じて、大規模災害発生時の避難所・福祉避難所、在宅避難者への食料提供の仕組みづくりにも貢献できるものと考えています。皆様方には、「フードバンクおおいた」事業活動の推進にご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

フードバンクおおいた
(社会福祉法人大分県社会福祉協議会)
会長 草野 俊介

フードドライブで集めた食品を フードバンクおおいたへ！

「フードドライブ」は、いただきものや、つい買いすぎてしまったものなど開封しないまま家庭に保管されている食品を、一般の方から集め、フードバンクを通じて活用する活動です。職場や学校、ご近所などでどなたでも始められます。

ボランティアの活動が重要です。

食品を受け取ったり配布したり、管理する作業にはボランティアの力がかせません。フードバンク活動に関心のある方、活動に参加できる方を募集しています。フードバンク活動を支援いただくと会員になっていただける個人・団体も歓迎します。お気軽にお問い合わせください。

- フードドライブをやりたい。もっとくわしく知りたいという方は、フードバンクおおいたまでお問い合わせください。
- フードバンク活動に関心のある方、ボランティアをやりたい方、会員になりたい方もお気軽にご連絡ください。



お問い合わせ

フードバンク活動についてお気軽にお問い合わせください。
また、フードバンクボランティアを随時募集しています。

フードバンクおおいた

社会福祉法人大分県社会福祉協議会

〒870-0907 大分県大分市大津町2-1-41 (大分県社会福祉協議会内)
TEL:097-558-3373 FAX:097-558-1296
E-mail:oitavoc@oitavoc.jp

余っている食べ物を食べ物に困っている人に
～食のセーフティネット フードバンクおおいた～



フードバンク おおいた



フードバンクとは、賞味期限内でまだ十分食べられるにもかかわらず、ハコが壊れたり、印字ミスなどで販売できない食品などを、企業や家庭から寄付してもらい、必要としている人や団体に無償で提供する活動です。フードバンクおおいたはこの活動のシステムづくりを進めています。

社会福祉法人 大分県社会福祉協議会

フードバンクおおいたの活動

社会福祉法人大分県社会福祉協議会は、平成 28 年 6 月 30 日にフードバンクおおいたを開設しました。フードバンクおおいたは、まだ食べられるのに処分せざるを得ない食料を預かり、支援機関等を通して本当に食料を必要としている人(生活困窮者)や場所(施設・こども食堂等)に無償で届けるフードバンク事業を展開していきます。そして、フードバンク活動による食品の廃棄物の削減と、地域資源の有効活用を行うしくみをつくり、住んでいる地域の中で誰もが尊厳をもって「その人らしい」生活を営むことのできる地域づくりを積極的に進めてまいります。この活動が定着し発展すれば、より多くの「食」に困っている要支援生活者の支援や地域づくりを行うことができます。多くの団体、個人の方々に賛同してくださることで、フードバンクおおいたの力は確実に大きくなります。

食べ物を集める

企業や個人から

食品企業や流通企業など様々な企業に呼びかけ、食品を提供していただきます。災害時用備蓄品などもいただくことができます。

フードドライブ

フードドライブは家庭で余っている食品を持ち寄り、生活困窮者の方などに役立てるボランティア活動です。協力団体には回収窓口として協力をお願いしています。



食べ物を届ける

「食」に困っている人に

食に困っていてもなかなか声を上げられない方々がたくさんいます。そのような方々に市町村社会福祉協議会や民生委員児童委員、NPO・ボランティア等支援団体の協力を得ながら、自立に向けた支援の一環として食品を提供しています。



普及のために

○フードバンクキッチン

孤食になりがちなこどもやお年寄りに「食」の楽しさを知って貰うために「親子等料理教室」を開催しています。

簡単に作れる料理作りの体験やレクレーション、学習支援もしています。

○こども食堂の支援

県下にもこども食堂が増えてきましたが、立ち上げ時の活動支援として運営のノウハウの習得や食料支援などを行っています。

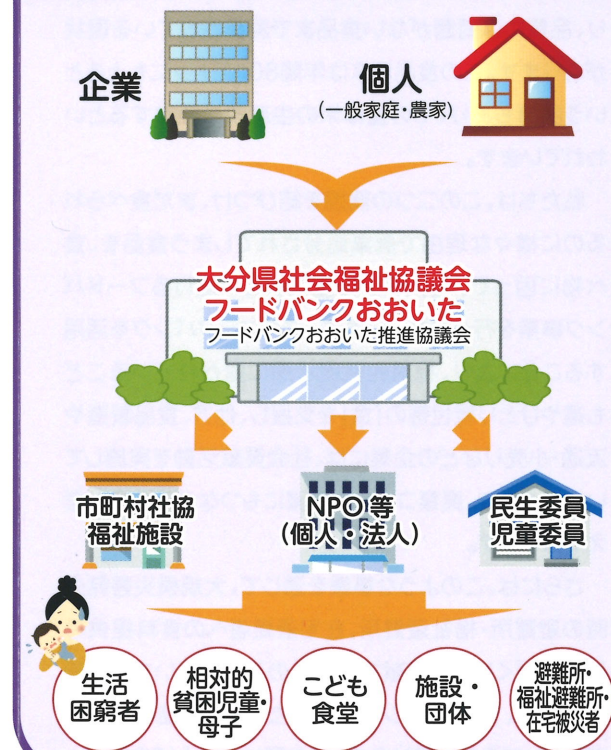
○フードバンクボランティア

フードバンクおおいたは、たくさんのボランティアのみなさまにご協力をいただいて運営します。常時、さまざまなボランティアを募集しています。

(1) 寄贈された食品の仕分け、点検ボランティア

(2) 配送ボランティア (3) 食事づくり・炊き出しボランティア

フードバンク関係図 食品の流れ



ご寄贈していた だきたい食品

- 穀類(米、麺類、小麦等)
- 保存食品(缶詰、瓶詰等)
- 調味料各種、食用油
- インスタント食品、レトルト食品
- 飲料(ジュース、コーヒー、紅茶等)

- 乾物(海苔、豆等)
- 粉ミルク、ベビーフード
- ギフトパック(お中元、お歳暮等)
- 災害用備蓄品

注意していた だきたい点

1. 賞味期限が記載されているもの
2. 賞味期限が1ヶ月以上あるもの
3. 未開封であるもの
4. 破損で中身が出てないもの
5. お米は常識の範囲内で古くないもの